



# THE EGG-QUITY INDEX: ケージフリー卵の透明性指標

大手食品企業のグローバルケージフリー進捗の  
公平性のランキング





# 目次

---

はじめに.....	1
パートナー団体.....	2
企業のランキング .....	3
企業の評価 .....	5
地域ごとのレポートとロードマップ.....	10
アジアのケージフリー移行の悩みを和らげる「インパクト・インセンティブ」.....	12
ケージフリーの将来.....	14
企業への推奨 .....	15
附属書 1: 企業の進捗報告とロードマップ .....	16
附属書 2: 評価基準.....	17

## はじめに

世界中のほとんどの採卵鶏は、羽を広げるスペースもなく、狭いケージに閉じ込められています。ケージに閉じ込められる採卵鶏は、ケージを使用しないというケージフリー飼育方法で飼育される採卵鶏と比べて、骨の損傷や皮膚感染症等の苦痛の時間は**60%も長く**体験してしまいます。さらに、採卵鶏のケージ飼育はサルモネラ菌の発生率が著しく高く、消費者にとって食品安全上の重大な懸念となっています。

多国食品企業はすでに、グローバルな課題として、採卵鶏の残酷な扱いに対処する責任を認め、サプライチェーンにケージフリーで飼育される採卵鶏から卵を調達することを約束しています。このようなコミットメントにより、ケージに閉じ込められる鶏からの卵調達を停止する必要があります。

多くの企業はケージフリーの目標に向けて進捗を示していますが、企業の目標や進捗報告によっては不足があり、事業を行なっている一部の地域等が含まれていないこともあります。この不均一性によって、卵産業では、グローバルノースからグローバルサウスへ**ケージシステムの輸出が行われ**、動物虐待が見過ごされているのです。

しかし、グローバルサウスの消費者がケージ飼育のような動物虐待に強く反対しています。<sup>1</sup>



96.3%  
ブラジル



96.7%  
チリ



72.3%  
中国



71.9%  
インド



73.3%  
マレーシア



77.9%  
ナイジェリア



93.6%  
パキスタン



77.1%  
フィリピン



73.4%  
スーダン



77.7%  
タイ

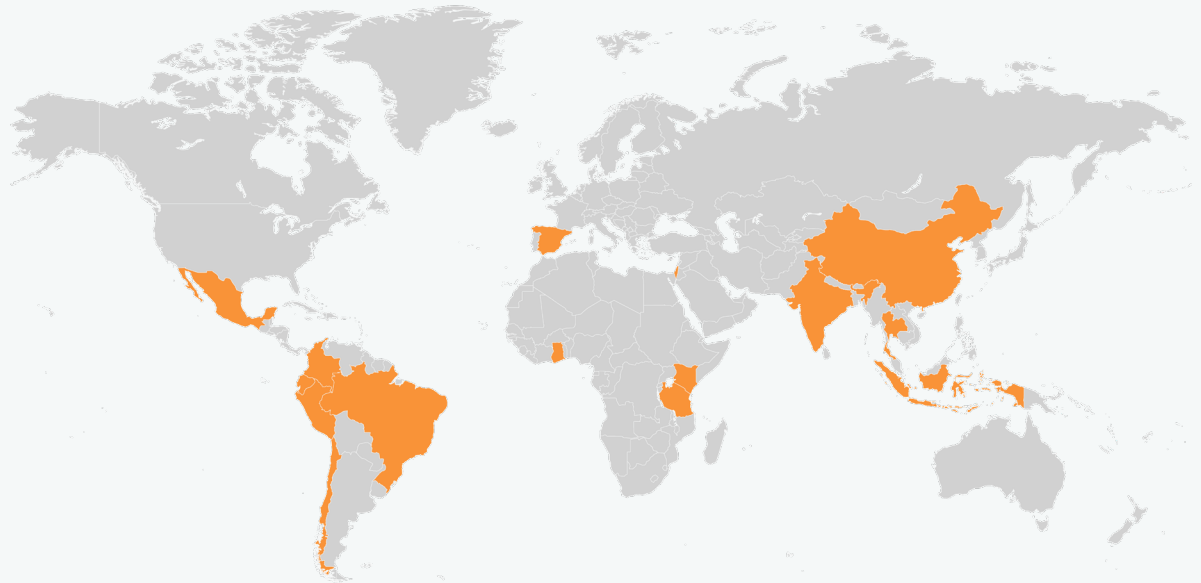
1,000以上のケージフリーコミットメントの期限が2025年に設定されており、これらのグローバル企業はすべての運営において100%ケージフリーに移行する必要があります。期限が迫る中、企業がどのように進捗を遂げているのか、また世界中の顧客に対して公平に進んでいるかどうかを評価しなければなりません。

このレポートでは、企業のケージフリーコミットメントとその進捗の公平性を初めてランキングします。公開されているデータをもとに、企業のケージフリー移行、報告、そしてロードマップを調査し評価しています。

<sup>1</sup> 世界中の消費者の鶏福祉に対する態度を調べた調査によると、調査対象の国々の大半の回答者が、卵を産むために使われる鶏は苦しむべきではないと同意しました。

# パートナー団体

The Egg-quity IndexはMercy For Animals(マーシー・フォー・アニマルズ)と以下の団体の共同プロジェクトです。



アニマル・フレンズ・ジ  
ヤグジャ



アニマル・イクオリティ



ANIMALS  
NOW

アニマルズ・ナウ



アソシアシオン・ア  
ルバ



アフリカ・アニマル・ウ  
エルフェア



アニマル・上フェア  
リーグ



テラ・アニマル



フンダシオン・ベジ



プラットフォーム・ア  
ルト



Planet for All  
地球共惜

プラネット・フォー  
オール



ピープル・フォー・アニ  
マルズ



ウツンジ・アニマル・ウ  
エルフェア



シネジア・アニマル



プロテクション・アニ  
マル・エクアドル

# 企業のランキング<sup>2</sup>

## 評価の対象

**透明性と実施:** 企業は2025年までに100%ケージフリーを達成するための進捗をどのように報告していますか? ケージフリークレジットや「インパクトインセンティブ」の利用を含めて評価します(詳しくはページXを参考してください)。

**ロードマップ:** 事業を行なっている各地域において、100%ケージフリー移行の予定を明確にしていますか。

<sup>2</sup> 2024年10月14日時点で公開された情報をもとに対象企業のケージフリーの移行、進捗報告とロードマップを分析しました。

### 公平性を徹底的に実施している (100~70点)

以下の企業はグローバルケージフリーコミットメントを満たすために、ロードマップの公開や地域ごとの進捗報告等、徹底的な取り組みを行なっています。

 DANONE	 THE J.M. SMUCKER Co	 aramark
100	100	90
 Unilever	 COMPASS GROUP	 Hilton HOTELS & RESORTS
90	90	70
 newrest		
70		

\* 他社ほど積極的なコミットメントではないため、点数を半分与える。

\*\* ニューレストとヒルトンは、すべての地域で地域報告を行い、独立したロードマップを作成することで進捗を遂げていますが、この層の他の企業とは異なり、ケージフリークレジットの活用を約束していません。

\*\*\* クリスピー・クリームは、ケージフリークレジットへの取り組みにより、第1層に移動されました。ただし、地域報告を提供していないため、スコアが60ポイントになることに注意してください。

### 公平性を示している (69~40点)

以下の企業は地域ごとの進捗報告を行っているものの、上記の категорияよりも透明性に欠けています。また、明確なロードマップを開示していません。

 sodexo	 ACCOR	 Krispy Kreme DOUGHNUTS
60	60	60
 eliorgroup Time savored	 Kellanova	 gategroup
60	50	50
 Kraft Heinz	 IHG <sup>®</sup> HOTELS & RESORTS	 LSGgroup
40	40	40
 MARRIOTT		
40		



## 公平性に欠けている (40点以下)

以下の企業は、特定の地域の進捗のみ報告しているか、あるいは進捗報告を全く行っていません。



30



20



20



20



20



20



10



10



0



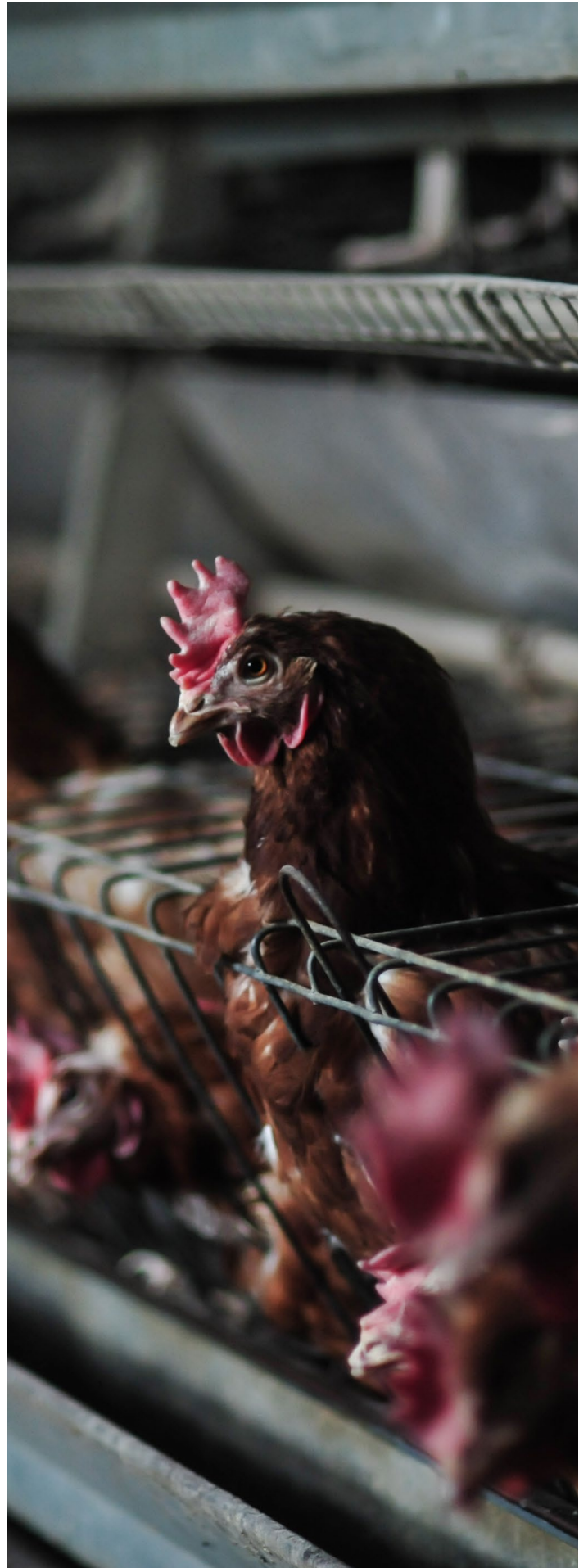
0



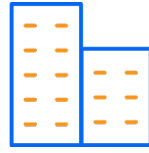
0



0



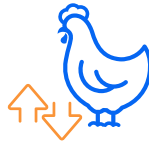
# 企業の評価



## 企業の選定

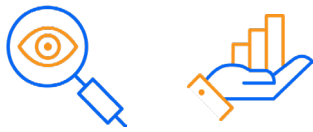
本レポートに掲載されるすべての企業はグローバルサプライチェーンにおいて2025年までに100%ケージフリー卵へ切り替えることを約束しています。2025年の期限が迫る中、特にグローバルサウスに焦点を当て、地域ごとの進捗状況を評価します。

設定された期限までにコミットメントを満たすためには、多国籍企業はすべての地域において大きな進捗を示し、報告しなければなりません。



## 評価基準

2024年7月31の時点で公開された情報をもとに対象企業のケージフリーの移行、進捗報告とロードマップを分析しました。



## 透明性と実施

事業を運営している全地域において、ケージフリー進捗を報告

### ベストプラクティスの一例:

「現在(2023年)、当社は地域のサプライチェーンから以下の割合の卵をケージフリーの鶏から調達しています: アフリカX%、中南米(メキシコを含む)X%、米国とカナダX%、アジア太平洋(中国を除く)X%、ヨーロッパ(ロシアを含む)X%、中国X%、中東X%です。」

もし2025年末までにサプライヤーからケージフリー卵の調達ができない場合、クレジットを購入することを検討することをおすすめします。



## ロードマップ

事業を運営している全地域において、100%ケージフリー調達を達成するためのロードマップを明確に公開

### ベストプラクティスの一例:

「2024年末までに、アフリカ/アジア太平洋/中南米/ヨーロッパ/北米/中東で購入する卵の70%をケージフリーにし、2025年末までに100%にします。」

企業 <sup>3</sup>	 透明性	 ロードマップ	 ケージフリー卵クレジット購入	 合計
	グローバル達成	全地域達成	全地域達成	100
 THE J.M. SMUCKER Co	グローバル達成	全地域達成	全地域達成	100
	全地域報告(各地域が独自報告を行なっている)	ロードマップ有り(一部)		90
	全地域報告(各地域が独自報告を行なっている)	ロードマップ有り(特定地域のみ)		90
	全地域報告(各地域が独自報告を行なっている)	全地域ロードマップ有り		90
	全地域報告(各地域が独自報告を行なっている)	ロードマップ有り(特定地域のみ)		70

<sup>3</sup> 評価基準の詳細は附属書 2 を確認してください。

\* 他社ほど積極的なコミットメントではないため、点数を半分与える。



	全地域報告(各地域が独自報告を行なっている)	ロードマップ有り(特定地域のみ)		70
	全地域報告(各地域が独自報告を行なっている)	無し		60
	全地域報告(各地域が独自報告を行なっている)	無し		60
	グローバル報告	グローバルロードマップ		60
	全地域報告(各地域が独自報告を行なっている)	無し		60
	Reporting regionally	グローバルロードマップ		50
	Reporting regionally	ロードマップ有り(特定地域のみ)		50
	Reporting regionally	無し		40
	Reporting regionally	無し		40

	地域別の報告	無し		40
	地域別の報告	無し		40
	グローバル報告	グローバルロードマップ		30
	グローバル報告	無し		20
	グローバル報告	無し		20
	グローバル報告	無し		20
	グローバル報告	無し		20
	グローバル報告	無し		20
	特定地域報告のみ	無し		10

SHAKE SHACK 	特定地域報告のみ	無し		10
Associated British Foods plc	無し	無し		0
	無し	無し		0
	無し	無し		0
INSPIRE Brands	無し	無し		0





# 地域ごとの報告とロードマップ

透明性と説明責任の向上への要求が世界中で高まる中、企業は、各地域または各国におけるケージフリー鶏から調達した卵の総量に占める割合を公表し、地域ごとの進捗状況を報告するようになりました。

地域ごとの報告は、企業の公式ウェブサイトにて掲載されるか、あるいは年度レポートに公開することがほとんどです。具体例として以下のような内容が挙げられます：

X時点で、各地域のサプライチェーンから以下の割合の卵をケージフリーの鶏から調達しています：アフリカX%、中南米（メキシコを含む）X%、米国とカナダX%、アジア太平洋（中国を除く）X%、ヨーロッパ（ロシアを含む）X%、中国X%、中東X%です。

また、情報を以下のような表に公開している企業も多数あります：

地域	2023
ヨーロッパ	x%
北米	x%
中南米	x%
アジア	x%
オセアニア	x%
アフリカ	x%
中東	x%

## 地域ごとの報告のメリット：



地域ごとに報告することで、各地域のケージフリー卵生産の発展状況が明確になり、高優先度の地域を特定するのに役立ちます。



特定地域だけでなく全地域の進捗を報告することで、特にグローバルサウスの動物や消費者に対する企業のコミットメントの公平性が明らかになります。



地域ごとの報告は透明性を示し、企業の信頼性と信用性を高めます。

多数の多国籍企業が地域ごとの報告を行なっています：



## ロードマップ

ロードマップはケージフリー卵の進捗報告に含まれることが多く、企業が今後数年間でどのようにケージフリー卵の調達を増やし、目標を達成していくかを説明するものです。

各地域のロードマップを公開することで、高い透明性が示され、2025年末までに全地域でケージフリーの目標を達成するための戦略が概説されます。

企業の実例を以下に紹介します：

### コンパス・グループ：

SHELL EGGS	PROGRESS			ROADMAPS		
	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25	End 25
North America	77%	73%	63%	95%	100%	100%
Europe & Middle East	17%	30%	41%	80%	100%	100%
UK & Ireland	44%	85%	99%	100%	100%	100%
Europe	54%	56%	74%	80%	100%	100%
Middle East & Türkiye	>5%	>5%	>5%	40%	85%	100%
Asia Pacific	9%	14%	15%	30%	75%	100%
Latin America	>5%	>5%	>5%	WIP*	WIP*	100%

\*Work In Progress

### アラマーク：

Country/Region	As of End of Fiscal Year 2023	Plan For End of 2024	Plan For End of 2025
U.S.	81% Cage-Free Shell 82% Cage-Free Liquid 73% Cage-Free Other	100% Cage-Free Shell 100% Cage-Free Liquid 100% Cage-Free Other	100% Cage-Free Shell 100% Cage-Free Liquid 100% Cage-Free Other
Canada	80% Cage-Free Shell 6% Cage-Free Liquid 3% Cage-Free Other	100% Cage-Free Shell 75% Cage-Free Liquid 50% Cage-Free Other	100% Cage-Free Shell 100% Cage-Free Liquid 100% Cage-Free Other
Europe	61% Cage-Free All Eggs	75% Cage-Free All Eggs	100% Cage-Free Shell 100% Cage-Free Liquid 100% Cage-Free Other
Asia	>1 % Cage-Free All Eggs	Benchmarks in development	100% Cage-Free Shell 100% Cage-Free Liquid 100% Cage-Free Other
Latin America	>1% Cage-Free All Eggs	Benchmarks in development	100% Cage-Free Shell 100% Cage-Free Liquid 100% Cage-Free Other

# アジアのケージフリー移行の悩みを和らげる 「インパクト・インセンティブ」

ケージフリー卵のクレジットは、ケージフリー卵の生産を証明する取引可能な証明書であり、パーム油、大豆、ココアなどの商品で使用されている帳簿やクレームシステムに似ています。このクレジットを利用することで、現在ケージフリー卵を調達できない企業でも、ケージフリー農業を支援することが可能です。

ケージフリーの調達が困難になった場合でも、企業はケージフリー農場から調達できない量のケージフリー卵クレジットを購入できます。この暫定的な方法は、ケージフリー卵の生産を発展させながら、最終的にはケージフリー卵の現物を購入して調達することにつながります。

「インパクト・インセンティブ」はケージフリー卵クレジットの制度であり、日本、中国、インドネシア、タイ、フィリピン、インド、シンガポールと韓国の地域での利用が可能です。この制度により、企業は現地でのサプライチェーンを構築し、アジアにおける100%ケージフリーへの移行を加速させ、採卵鶏の苦しみを軽減するために迅速に行動を起こすことができます。

## ケージフリー卵クレジットのメリット



**認証の生産者と連携しケージフリーの目標に近づける。** ケージフリー卵クレジットを利用することで、企業はアジアで鶏卵サプライチェーンの移行を加速することができます。グローバル・フード・パートナーズは、生産者が特定の動物福祉基準を遵守していることを認証します。



**現物の調達に向けて具体的な一歩を踏み出す。** ケージフリー・クレジットは、ケージフリー卵の調達に課題を抱える企業にとって、暫定的な解決策となります。ケージフリー卵クレジットを購入することで、企業はケージフリー卵の生産に積極的に投資し、できるだけ早くケージフリー卵の調達に切り替える決意を示すことができます。



**物流コストの削減。** ケージフリーの卵の生産に割増料金がありますが、輸送に関わる物流コストは減ります。



**ケージフリーへの移行スケジュールを守る。** ケージフリー卵クレジットにより、スケジュール内にケージフリーへの切り替えを完了することができます。



**透明性とリーダーシップを発揮する。** ケージフリー卵クレジットを使うことで企業の課題と解決策が透明にステークホルダーに伝われ、リーダーシップと世界中の動物福祉を改善させたい意志も示されます。



以下のような企業は2025年末までに目標を達成するために、ケージフリー卵の調達  
が困難な地域等に関して代替手段としてクレジットを利用しています:コンパス・グル  
ープ, ユニーバ, アラマーク



“「2025年末までにケージフリー卵に移行するという目標を達成するため、当社は現在、現物供給を優先しています。調達が困難な地域では、卵クレジットを代替手段として利用する予定です。」コンパス・グループ”  
—(参照).

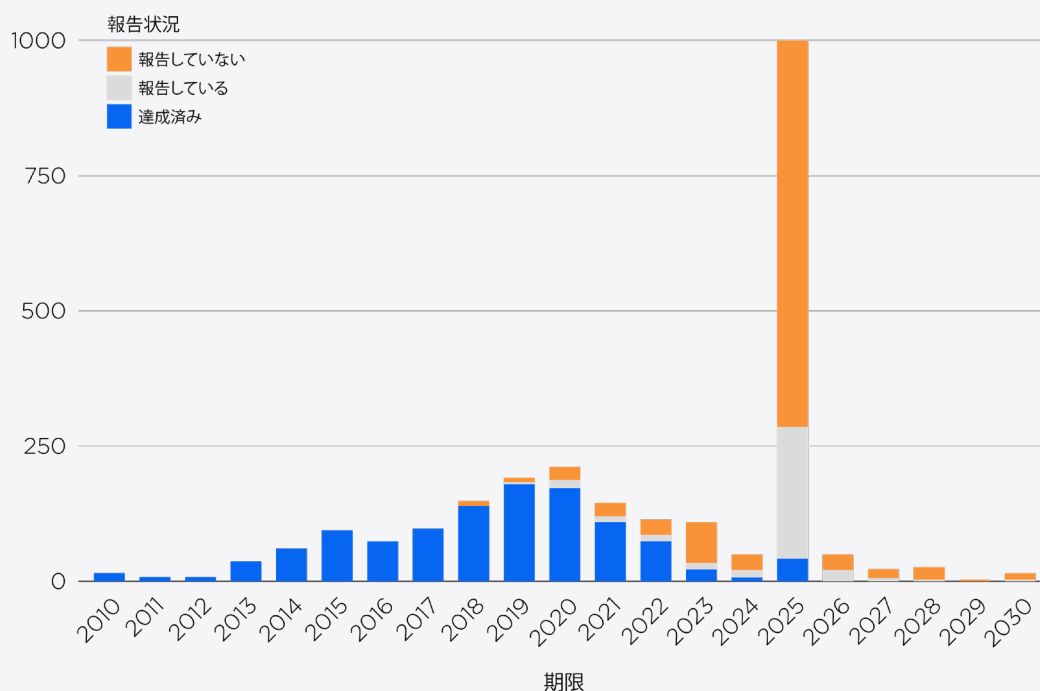




ケージフリーの将来

2025

多くのグローバルケージフリーコミットメントは2025年までに達成しなければなりません。世界中の消費者、投資家と動物保護団体は多国籍企業がコミットメントを果たし、ケージ使用という残酷な飼育方法から離れることを期待しています。



参照: [OWA Cage-Free Egg Fulfillment Report 2024](#)

2025年の期限を守るために多国籍企業はケージフリーへの移行を加速する必要があります。良いビジネス価値や誠実さと掲げている企業にとって、不透明性、計画性と実行の不足によって消費者からブランドへの信頼度の低下につながる可能性があります。

世界中の動物福祉の基準の向上において、多国籍食品企業が重要な役割を果たしています。ケージフリーコミットメントを達成することで、数十億羽の採卵鶏に良い影響を与え、ケージ飼育に伴う苦痛から救うことができます。

## 企業への推奨

ケージフリーコミットメントに対する説明責任を示し、グローバル・ノースとグローバル・サウスの両方でケージフリーへの移行を早めるために、企業に対して以下の行動を実施することを強く推奨します。



ケージフリー生産に投資する



鶏卵の利用を減らす



ケージフリークレジットを購入する



地域の動物保護団体と協力する



## 附属書 1: 企業の進捗報告とロードマップ

企業	ケージフリー報告	ロードマップ	ケージフリー卵クレジットの利用
ダノン	<a href="#">100%ケージフリー卵達成</a>		
JM スマッカー	<a href="#">100%ケージフリー卵達成</a>		
アラマーク	<a href="#">地域別報告</a>	<a href="#">全地域ロードマップ有り</a>	<a href="#">利用有り</a>
ユニリーバ	<a href="#">地域別報告</a>	<a href="#">一部有り</a>	<a href="#">利用有り</a>
コンパス・グループ	<a href="#">地域別報告</a>	<a href="#">一部有り</a>	<a href="#">利用あり</a>
Newrest	<a href="#">地域別報告</a>	<a href="#">一部有り</a>	無し
ヒルトン	<a href="#">地域別報告</a>	<a href="#">一部有り</a>	無し
ソデクソ	<a href="#">地域別報告</a>	無し	無し
アコー	<a href="#">地域別報告</a>	無し	無し
クリスピー・クリーム・ドーナツ	<a href="#">グローバル報告</a>	<a href="#">全地域ロードマップ有り</a>	<a href="#">利用あり</a>
エリオール	<a href="#">地域別報告</a>	無し	無し
ケラノバ	<a href="#">地域別報告</a>	<a href="#">グローバルロードマップ</a>	無し
ゲートグループ	<a href="#">地域別報告</a>	<a href="#">一部有り</a>	無し
クラフト・ハイツ	<a href="#">地域別報告</a>	無し	無し
IHG	<a href="#">地域別報告</a>	無し	無し
LSGグループ	<a href="#">地域別報告</a>	無し	無し
マリオット	<a href="#">地域別報告</a>	無し	無し
ロイヤル・カリビアン	<a href="#">グローバル報告</a>	<a href="#">グローバルロードマップ</a>	無し
ゼネラル・ミルズ	<a href="#">グローバル報告</a>	無し	無し
ネスレ	<a href="#">グローバル報告</a>	無し	無し
ペプシコ	<a href="#">グローバル報告</a>	無し	無し

企業	ケージフリー報告	ロードマップ	ケージフリー卵クレジットの利用
カーニバル・コーポレーション	<a href="#">グローバル報告</a>	無し	無し
コスタコーヒー	<a href="#">グローバル報告</a>	無し	無し
イケア	<a href="#">特定地域報告</a>	無し	無し
シェイク・シャック	<a href="#">特定地域報告</a>	無し	無し
アソシエイテッド・プリティッシュ・フーズ	無し	無し	無し
ベストウェスタン	無し	無し	無し
マコーミック	無し	無し	無し
インスパイア・ブラズ	無し	無し	無し

## 附属書 2: 評価基準

ロードマップ /20	すでに100%ケージフリーの達成を報告しているか、あるいは全地域の100%までのロードマップを公開している	20
	一部のロードマップ(グローバルロードマップのみあるいは特定地域のロードマップのみ)	10
	無し	0
透明性と実践 /80	全地域達成	80
	全地域報告(各地域が独自報告を行なっている)	60
	ケージフリー卵クレジット購入にコミットしている	20
	地域別報告(地域をグループに分ける)	40
	グローバル報告	20
	特定地域だけの報告	10
	報告していない	0